

授業科目名 <英訳>	ILASセミナー：チンパンジー学集中実習 ILAS Seminar :Seminar on the Study of Chimpanzees			担当者所属 職名・氏名	霊長類研究所 教授 友永 雅己 霊長類研究所 准教授 足立 幾磨 霊長類研究所 助教 林 美里		
群	少人数群	単位数	2単位	時間数	30時間	授業形態	ゼミナール
開講年度・ 開講期	2018・ 前期集中	受講定員 (1回生定員)	5(5)人	配当学年	1回生	対象学生	全学向
曜時限	集中 8/6～8/11を予定	教室	霊長類研究所(愛知県犬山市)思 考言語分野研究室			使用言語	日本語及び英語
キーワード	霊長類 / チンパンジー / 比較認知科学 / 実習						

[授業の概要・目的]

愛知県犬山市にある霊長類研究所で、チンパンジーの認知機能の実験研究の現場に参加して、チンパンジーという「進化の隣人」を深く知るとともに、そうした日々の体験を通して「研究」という営為を理解する。研究する側の日常と、研究される側の日常の姿を見せたい。

[到達目標]

・チンパンジーの認知機能の実験研究の場に参加して観察したり、現場での質疑や議論を通じて、こころの進化に関する実証研究(比較認知科学研究)の重要性を体感する。

[授業計画と内容]

霊長類研究所で、その宿泊施設に泊まり、月曜日から土曜日までの6日間の集中実習をおこなう。毎日、霊長類研究所の教員・研究員・大学院生が行っているチンパンジーを対象とした比較認知科学(Comparative Cognitive Science)の研究に参加して、チンパンジーの実際の行動を観察し、コンピュータを操作して実験データを収集する。また、実験データの解析をもとに、研究の進展とともに考える。同時に、午後の時間の一部を利用して、研究される側のチンパンジーの飼育環境エンリッチメントや、野生チンパンジーの社会・生態および自然環境保護について学ぶ。対象学としての「チンパンジー学」は、学際的で多様なひろがりをもつので、その系統・形態・生理・遺伝・分子生物学についても基礎的な知識を教授する。

受講生は、犬山での集中実習に先立ち、京都において2回ほど講義を行う予定である。内容は以下の通り。時間はILASセミナー実施時間、場所と日程については、履修生に追って周知する。

第1回：比較認知科学とは何か

第2回：チンパンジーにおける比較認知科学研究

犬山での集中実習は2018年の8月6日(月)午後～11日(土)午前におこなう。全日程参加を条件とする。受講生は、第1日目から第6日目まで、毎日同じ時間スケジュールで、午前・午後ともに実験に参加し、夕方はセミナーなどに参加する。夜は、共同で自炊する。最終日には、参加者それぞれの自主に基づいた質問をベースにした総合討論の時間を設け、実習に関するフィードバックを行う。また、実習終了後にも随時、さまざまな形でのフィードバックの機会を設ける予定である。

なお受講生は、8月6日(月)12:30までに霊長類研究所に集合すること。健康診断書の写し(特にX線胸部間接撮影の所見)を持参すること。交通費と宿泊費は本人負担とし、食材費は担当教員の負担とする。なお、授業実施日や内容に関する質問があれば、e-mailでのみ受け付ける(tomonaga.masaki.4m@kyoto-u.ac.jp)。

ILASセミナー：チンパンジー学集中実習(2)

[履修要件]

特になし

[成績評価の方法・観点及び達成度]

実習についてのレポート（A4サイズ）の提出。
実習への取り組みと、そのレポートをもとに成績評価する。
詳細は実習中に説明する。
なお、実習が8月中旬のため、成績報告が遅れる可能性がある。

[教科書]

松沢哲郎『想像するちから』（岩波書店）
『日本のサル学をあした 霊長類研究という「人間学」の可能性』（京都通信社）
松沢哲郎『チンパンジーから見た世界』（東大出版会）

[参考書等]

（参考書）
友永雅己・田中正之・松沢哲郎『チンパンジーの認知と行動の発達』（京都大学学術出版会）
『動物たちは何を考えている？-動物心理学の挑戦-』（技術評論社）
京都大学霊長類研究所(編)『新しい霊長類学』（講談社ブルーバックス）

（関連URL）

<http://www.pri.kyoto-u.ac.jp/index-j.html>

[授業外学習（予習・復習）等]

特別な予備知識は必要としない。ただし、あらかじめ研究所および「思考言語分野」のホームページをみておくこと（<http://www.pri.kyoto-u.ac.jp>）。また教科書については必ず事前に読んでおくこと。参考書についても目を通しておくことが望ましい。

[その他（オフィスアワー等）]

学生教育研究災害傷害保険に各自加入しておくこと。
健康診断を受けておくこと。